

JAAC だより

サウスイーストミズーリ州立大学&JAAC 提携 25 周年記念式典 サウスイーストミズーリ州立大学において施行

去る4月20日(火曜日)、サウスイーストミズーリ州立大学、ビジネス学部ビルディングにおいてJAACと同大学の提携25周年を祝う記念式典が施行されました。式典にはケニース・ドビンズ学長、学務最高責任者ロナルド・ロサティ博士、ビジネス学部及び国際教育学部長、ジェラルドマックドゥーガル博士、教育学部長マーガレット・ノウ博士など多くの大学関係者のご列席を賜り、JAAC 高瀬義弘理事長、30名強に及ぶ同大学日本人留学生達と共に、過去600人を超えるJAAC 留学生が同大学を卒業しているという、米国中西部の州立大学として特筆すべき実績と歴史を共に再認識し、お祝いする機会を持つことが出来ました。

式典では、最優秀JAAC 学生に対して贈られるYoshiro Takase Scholarship (高瀬義弘奨学金)に選ばれた本橋拓也さん(ビジネス学部生)による素晴らしい受賞スピーチや学部長リストに選ばれた優秀成績学生11名の発表などもあり、この式典を通して、日本人留学生の優秀性や大学への貢献に対して改めて認識される絶好の機会となりました。

JAAC 理事長が15年前に寄贈したビジネス学部正面玄関の桜並木も立派に成長し、桜満開時には地元ケーブジラード市の名物のひとつになっているとの話も学長から披露されました。今秋、同大学では大学同窓会の最大の海外支部として、サウスイーストミズーリ州立大学日本同窓会を正式に発足させることを決定、また、日本の教育ニーズに合致した多様な教育プログラムをJAACと共同開発・実施するための協議もすでに始まっています。

私どもJAACは、同大学との提携30周年に向けて、次の5年間を更に大きく発展させることをミッションのひとつとして、取り組んで参ります。



本橋拓也さんスピーチ



高瀬理事長スピーチ



同窓会役員の方々



ビジネス学部校舎前



記念式典にて



留学生事務局の皆さんと

- ● 家族のあり方 ● -

“文化の違い、価値観の違い”

“家族のあり方”はそれぞれの国の文化や価値観によって異なります。日本は先進国の中で、家族のあり方についての絆や結束が最も薄い国と言われています。これには賛否両論があることは十分に承知しています。たとえば、たまの週末に家族全員で食事に行こうとした時、長男は試験勉強で行かれない、次女は友達と出かける約束があるから行かれない・・・、ということがありますね。『じゃあ仕方ないから、行かれる者だけで食べに行こうか』とお父さんが言う光景はしばしばあるのではないのでしょうか。実は、私の家でも同じようなことがありました。これが欧米の国々では、家族が一緒にどこかへ行くのであれば、誰もが何をあいても家族の行事に参加する、という姿勢を持っていると言われていています。ですから、『明日は試験だから勉強する』という子供に対して、『じゃあ、出かける前に終わらせなさい』と親は言うでしょう。これはほんの一例にすぎませんが、家族を構成する者たちが、自分の家族に対する絆と結束をどのように考えているかを如実に現わしているものだと思います。日本では以前から“単身赴任”という言葉があり、これは文字通り、父親の仕事の都合でという理由が一般的ではありますが、父親と他の家族の者たちが別々に暮らすことです。欧米人の多くは、この考え方に賛同していません。母親（妻）は父親（夫）が行く所について行き、両親が行くところに子供たちもついて行く - 家族はいつも一緒に決して離れない、と考えるのが一般的のようです。よく言われるのは、日本は土着性を重んじる農耕民族型社会で、家族はその土地に根付くものであり容易に他の土地には移らない。それに対して、多くの欧米社会は狩猟民族型であり、住居の移動と移設に寛容で、他の土地に移る際には家族全員と一緒に移ることを自然なこととしています。また、お隣の国である韓国では儒教の教えから、先祖や目上の人々を敬い、尊び、その教えを基調として家族や親族の絆と結束が強く固いと言われていています。それ故に、家族という単位で様々な儀礼的、慣習的な行事には必ず参加します。韓国の学生が留学する際に、その留学先に母親も一緒に行って暮らすということも多々あるそうです。その本当の目的は分かりませんが、それは日本の留学生と保護者にはあまり見られない状況ですね。このように、その国の文化や歴史的背景などによって、“家族”に対する想いが異なるようです。（次号に続く）（カリフォルニア事務局：照井）

カリフォルニア通信

（カリフォルニア担当：新井 康平）

【今年も6月の半ばを過ぎました】月日の経つのは速いもので、今年も6月の半ばを過ぎ、既に半年以上が経過しました。ここアーバインも本格的な夏を迎え、暑い日々が続いています。それでも朝晩は涼しく、一日の寒暖の差が大きいのが南カリフォルニアの気候の特徴です。私がある UCI (カリフォルニア大学アーバイン校) ではつい先日、卒業式が行われました。日本的に言えば新社会人となる卒業生が、グラジュエーション・ガウンとグラジュエーション・キャップと呼ばれるお決まりの黒いガウンと帽子を身につけ、家族や親族、友人たちが列席するなかで卒業式に臨んでいました。アメリカの景気も決して良いものではなく、大学を卒業してもすぐに就職ができるとは限りません。特に、アメリカ社会では大卒者であっても仕事先では見習いのような立場から仕事を始めるので、日本とはまた違った面で大変なことなのです。一つひとつ仕事をこなして、そこでの成果と実績が認められると、徐々に役職に就いていける階段を昇っていくのですから、新卒者の彼らはこれからが大変です。4年生が卒業すると、秋学期からは多くの新1年生が入学してきます。その頃にはまた、キャンパスも大勢の新入生で賑わうことでしょう。日本の大学のキャンパスでも良く見られるような、サークルや同好会へ新入生を勧誘するブースやテントがキャンパス内のあちらこちらに出され、先輩学生たちが新入生たちの興味を引こうと必死に呼びかけをします。アメリカの大学では、新学期は8月の終わりか9月からというのが一般的です。私も UCI にいると、6月の卒業式が終わるたびに『今年も1年が終わったなあ』と想うのです。これからの夏休み期間中は、日本からの多くの大学生グループが UCI での研修に来ます。Enjoy your staying in California !!

ミズーリ通信

（ミズーリ担当：ライマン・ピットマン）

【会話の話題】『外国語を上手く話すには、その国の言葉を母国語とする人とたくさん話すこと』、ということは一般的な常識となっています。確かにその通りですが、会話をするには話題が必要で、問題はどんな話題で会話を進めるかという課題もあるのです。もし、あなたが会話の口火を切るのであれば、その話題でしばらくは会話が進みますね。会話を成功させる一番のコツは、会話に参加している全員が興味を持てるような話題を選ぶことです。それは大きなテーマであったり、意味深いものでなくても、幅広い年齢層の人たちとも共有できる日常生活の中にあるものなのです。学生の皆さんであれば、学校で見聞きしたことや学生同士で共有できる話題で話が進みますよ。授業中に黒板に何も書かない先生の話や、授業中に教室で平然とサンドイッチを食べている学生のこと。また、宿題の話やTVのスポーツ番組の話題などもありますね。もしあなたが話題を提供するのであれば、次のような事に気をつけてください。きつと、皆さんの会話術も向上すると思いますよ。それらは、1) 話のテーマに関係する話題から話し始める、2) 他の人も経験したことがあるような話題を選ぶ、3) 相手を難しい立場に置かないこと。例えば、『アメリカ人って怠け者だと思わない？』と聞くよりも、『私たちの先生って何だか怠慢だと思わない？』という話題の方が良いかもしれませんね。さらに大切なことは、4) いつも他の誰かが話を始めるのを待つ、ということをしなないことです。そして、5) 一般常識から外れ、あなたの話に相手を従わせたりするような話題は避けることです。たとえアメリカ人と上手く話ができても、それ自体はお互いの交友を深めるものではありません。それはただ、会話そのものが上手くいったに過ぎないのでから。

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・？

～ いよいよ夏休みです！ ～

いよいよ夏休みですね。皆さんの予定はもう決まりましたか？ 夏の学期（サマーセッション）を取る人、どこかへ旅行する人、キャンパス内でのアルバイトに励む人、久しぶりに日本に帰って家族や友達に会う予定の人、それぞれの楽しみ方や過ごし方がありますね。どんな過ごし方をされるにしろ、自分の将来に役立つような体験をすることや、将来の糧になるようなことを心がけてください。夏学期（サマーセッション）を取る人も、それが終われば少しの間は授業や勉強のことを考えないですむ時間ができますよね。今まで学校で頑張ってきた自分に対するご褒美だと思って、少しは勉強から離れて、自分が楽しめる何かを探してみるのも良いと思いますよ。大事なことは、普段は勉強に励み、休みの時は頭を休めて、勉強のことは忘れ、生活のリズムにメリハリをつけることです。そして、心身共にリフレッシュして秋学期を迎えることができれば最高だと思います。特に、日本に帰省される方は、思いっきり日本食を食べたり、友達と遊びに出かけたり、日本の夏をエンジョイしてください。もちろん、女性の方にとつては、日本での買い物も大事なイベントですね。

Help Line

FAQ

「ルームシェアをする人を探すには・・・？」

A: アパートに移る際のルームシェアをする人を探すのですかね？ 一番良いと思われる方法は、普段から交流のあるアメリカ人の学生と一緒にアパートに住むことでしょう。留学生同士の場合、アパートの管理事務所が入居を拒む場合があります。一緒に住む人を探すには、学校内の掲示板にルームシェアを求めている事や、その際の諸条件等を書いた用紙を貼ったり、友人にルームシェアを希望している人がいないか根気強く尋ねてみるのだと思います。お友達の紹介の場合は、その人と時間をかけて良く話したり、一緒に食事をしたりして、その人の事を良く知るように努めましょう。また、相手にもあなた自身のことを良く知ってもらう必要がありますよね。お互いのプライバシーを侵害しないように一緒に住むのですから、お互いに良く理解し合ってください。それから、どちらかがアパートから出る際の約束事なども細かく話し合っておきましょう。光熱費やTVケーブル代の支払い条件なども忘れないように。

【編集後記】 ●日本の首相が変わった。『また・・・？』や『もう・・・？』など、あなたの感想はどちらですか？ それよりも、今度は大丈夫なのかなあ・・・と心配しているのは私だけだろうか▼世界最大規模の上海万国博覧会。開催当初から様々な問題が続いている。何としても成功させなくてはと、中国もやっきになっているようだ。やはり面子を重んじる国なのか■いよいよサッカーのワールドカップが始まった。日本は初戦のカメルーン戦を1対0で勝ち、白星スタートだ。やったーっ。頑張れ、サムライ・ジャパン!!!▲かねてから経営の再建問題が話題になっているJAL日本航空。やはり前年度比で赤字が露呈した。それに反してANA全日空は黒字だ。JAL日本航空よ、言い訳はできないぞッ。これからは僕もJALに乗ろうかな★最近、雨が降る日があるなあと思ったら、やはり梅雨入りするらしい。また、嫌な時期がくる。 (照井)

Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ（インフルエンザ A (H1N1)）における注意のご案内： 今般の新型インフルエンザの流行は一応沈静化したと想われます。しかしながら、留学生の皆さんには引き続き体調の管理に努めていただきますようお願いいたします。帰省される方は、帰省直後から一週間ほどの間に著しい体調の変化を感じた場合には、早急に保護者の方と一緒に医療機関での診察を受けるようにしてください。

★米国及び日本で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラムへの参加： 2011年・2012年卒業予定の皆さんにおかれましては、日本や米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラム、海外大生を対象とした就職説明会などに積極的に参加されることをお勧めいたします。インターネット等でこれらのフェア開催日程を調べ、前もって皆さん各自のスケジュール調整を行い、多くの企業担当者やフェア開催団体のカウンセラーとの面談に努めてください。

※今年のボストン・キャリアフォーラムの予定は、<http://bostoncareerforum.usautstudy.com/800/post-86.html> を参考にしてください。

■夏に帰省する皆さんへ： 帰省に際しての準備を早めに進めましょう。航空券の手配、アメリカ再入国の際に必要な入学許可証（I-20）の取得などと言った時間のかかる手続きは早めに始めてください。

▼帰省中に留学ビザ（F-1）やパスポートの更新手続きをされる方へ： 留学ビザの更新手続きには、留学後に在籍した全ての学校の成績証明書が必要です。また、現在在籍している学校から更新された入学許可証（I-20）を持つことが必要です。必要書類等についてはJAAC本部またはJAACカウンセラーに早めにご相談ください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp